

≪三郷特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害	学部・学科	小学部・中学部・高等部	R6.5.1 児童・ 生徒数	(男) 229 (女) 106	計 335
アクセス	JR 武蔵野線「新三郷駅」より徒歩 25 分					
<教育課程等>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害特性や一人ひとりの実態を踏まえた教育内容。 ・ 高等部は生徒の実態や課題に合わせて教育課程を 3 つに分け、一人ひとりに応じた学習を行っている。(教育課程 A、教育課程 B、重複学級) ・ キャリア教育を基盤に小学部から高等部までの 12 年間を見通した教育に取り組む。 						
<学校行事・部活動>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校で取り組む行事には、入学式、三陽祭(文化祭)、卒業式がある。令和 6 年度は、小学部・中学部運動会を学校グラウンドで実施し、高等部体育祭を外部施設の陸上競技場で実施。 ・ 各学年で実施する校外学習は、社会体験学習、遠足、集団宿泊学習、修学旅行等がある。 ・ 高等部は水曜日に部活動(運動部 5、文化部 3)があり、球技部が中心となって県主催の陸上大会、サッカー大会、バスケットボール大会に出場している。 						
<家庭・地域との連携>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校公開を年 2 回実施。 ・ 希望する小学部、中学部、児童生徒に対して、支援籍学習を実施。 ・ 就学や転学を希望する方々に対して、学校見学会を小学部 3 回、中学部 2 回、高等部 3 回(内 2 回は入学選考説明会を兼ねる)計 8 回実施。また、令和 6 年度から、就学転学を検討している方対象の個別相談会を実施する。 ・ センターの機能の一環として、小中高等学校等への支援や相談、研修等を行っている。 						
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティスクールとして、地域のイベントに参加(予定)。 ・ 令和 6 年度開校、三郷北分校との行事を中心とした交流の実施。 ・ 小学部、中学部は近隣の小学校・中学校との交流会。 ・ 高等部では、三郷高校・三郷北高校・本校での三校交流会。 ・ 高等部では、作業班交流として、杉戸農業高校と農耕班の交流会を実施。 ・ 地域の方々にボランティア登録をしてもらい、ボランティア活動。 						
<進路>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒一人ひとりの能力を把握し、適性を見極め、個々の持つ可能性を引き出ししていくことにより、社会的自立を目指している。日々の学習では、教科学習や作業学習を行い、その実現に向けて取り組んでいる。また、1 年次には施設見学を実施し、各学年では、校内・現場実習等に取り組んでいる。 <p>【企業就労】 サービス業(小売、飲食)、運輸業(倉庫内作業、ピッキング)等。</p> <p>【福祉的就労】 三郷市・八潮市・吉川市の福祉施設等に就労。</p>						

2 育成方針（児童生徒の成長物語）三郷特別支援学校



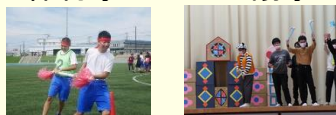
本校スクールキャラクター
みさとちゃん



学校教育目標「心豊かに学び 主体的に生きる力を育てる」

めざす学校像「仲間を認め合い、絆を深めながら楽しく学べる学校」「家庭や地域と連携し、豊かな体験を通して児童生徒一人一人が自ら学べる学校」「共生社会の実現を目指し、地域のセンターとしての役割を果たす学校」

意欲を育む学校行事
体育祭 三陽祭



小学部の目標

元気に遊ぼう
楽しく学ぼう

仲間とともに育ち合おう

- 元気な体をつくる
- 興味・関心を持つ
- 意欲的に学ぶ
- 豊かな人との関わり
- 最後まで努力する

中学部の目標
自分の思いや願いを伝え、
友達と共に活動し、
学校生活を楽しもう

- 基本的な生活習慣の確立
- 健康で丈夫な体づくり
- 集団活動での学び合い
- 気持ちの表現
- 意思決定する力

高等部の目標

豊かな人間関係を築き、
生活を切り拓く力を育てる

- 目標をもち意欲的に取り組む力
- 人との関わりを広げる力
- 地域社会に参加する行動力
- 仲間と協力し成し遂げる力
- 最後までやりぬく力
- 学ぶ意欲を高める力
- 経験を増やし生活を高める力

地域の一員として笑顔で
主体的に
生きる力

自己実現を図る進路指導 校内実習・現場実習の充実

- 高1は2・3学期に校内実習を行い、3学期は現場実習を行う生徒もいます。
- 高2・高3では、個々の特性や適性を見極めながら、校内実習と現場実習を期間外にも必要に応じて行います。



キャリア教育の観点に基づき、
小学部からの12年間を見据えた学習

障害特性を踏まえた
きめ細かな指導

臨床心理士、作業療法士等の専門家の指導を活用

★個に応じた指導・支援の充実を図ります←学校教育目標の達成とめざす学校像の実現に向けて

- 個別の教育支援計画（プランA）、個別の指導計画（プランB）を本人・保護者のニーズを踏まえ作成します。
- 計画にもとづき丁寧に指導・支援します。
- 児童生徒の成長のようす（目標を達成したか）を評価します。
- 成長のようす（評価）を保護者に丁寧に伝えます。

